

CHOP・リツキサン療法を受けられる患者様へ（木曜日入院）１２日間

CHOP-R療法バス〈12日間・G-CSF製剤あり（木入院）〉【06005-02】

患者氏名： _____		様		入院病棟： _____		主治医： _____		受け持ち看護師： _____		No1				
日付	/	/	/ ~ /	/	/	/	/ ~ /	/						
入院日数	1日目		2日目		3日目～4日目		5日目		6日目～7日目		8日目～11日目		12日目	
イベント	入院日		CHOP療法				リツキサン						退院日	
目標 毎日看護師と評価します	・日常生活動作ができる ・治療について理解できる		・日常生活動作ができる ・治療について理解できる ・水分管理の必要性が理解できる ・副作用症状について理解でき、症状出現時は医療者に報告できる ・感染予防行動がとれる		・日常生活動作ができる ・治療について理解できる ・副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる ・感染予防行動がとれる		・日常生活動作ができる ・治療について理解できる ・水分管理の必要性が理解できる ・副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる ・感染予防行動がとれる		・日常生活動作ができる ・治療について理解できる ・副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる ・感染予防行動がとれる		・日常生活動作ができる ・合併症発症時に対処できる ・副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる ・日常生活での注意点が理解できる ・感染の徴候がない		・日常生活動作ができる ・合併症発症時に対処できる ・日常生活での注意点が理解できる ・感染の徴候がない	
	・自宅で内服していたお薬は、薬剤師が確認するため一度お預かりします 		・点滴治療のスケジュールは別紙参照してください ・プレドニンの内服が5日間あります 				・リツキサンの点滴30分前に解熱鎮痛剤と抗アレルギー薬を飲みます ・11時頃よりリツキサンの点滴を実施します ・15分毎に体調を観察し30分毎に問題がなければ、点滴の速度をあげていきます 約3～4時間の予定ですが、状態により変わりますので正確な時間はその都度お伝えします ※点滴は機械を使って行います		 退院基準： 38度以上の発熱がなく、コントロール不良な感染症の症状がない 		・白血球を増やすフィルグラスチムの皮下注射が5日間あります ・骨髓の中で白血球を作る際に腰痛が起こることがあります			
検査	・採血があります ・身長、体重測定があります		退院まで毎日、朝体重測定があります											
治療処置	・治療前日または治療当日に点滴の管を入れることがあります													
食事飲水	・医師の指示により、制限のあるときはお伝えします		・抗がん剤治療の日は水分を1L程度とってください ・吐き気があるときや食欲がない時はお知らせください											
清潔	・点滴終了後にシャワーに入ることができますが、点滴の管は保護が必要です ※シャワー時間は看護師に相談して下さい													
排泄	・入院中は朝6時から翌朝6時まで24時間ごと排泄回数をカウントしてください		・抗がん剤投与後、48時間は尿に抗がん剤が出るため、トイレは座って排泄し、トイレ後は蓋を開けて2回流してください ・ドキシソルピシンの影響で赤い尿が出ることがありますが、2回ほどでおさまります ※続く場合には、看護師にお知らせ下さい ・プレドニン、オンコビンの副作用で便秘になります ※お薬での調整が必要な場合もあります											
安静活動	・制限はありません		・点滴中、必要時以外は病棟内で過ごすこと ・末梢点滴から投与する場合、血管外露出および曝露予防のため、トイレ、食事時には一時抗がん剤点滴を止めて水分の点滴を流します ※ナースコールでお知らせ下さい ・副作用で不眠になることがあります ※薬をお渡ししますので相談してください					・特に制限はありませんが、ステロイドの離脱症状により、倦怠感や脱力感がみられることがあります ※歩行時は転倒に注意し、症状がある場合には看護師にお知らせください						
説明指導	①医師、看護師から治療について説明があります ②薬剤師から化学療法のオリエンテーションがあります ③日常生活の注意点や感染予防行動について説明します		①抗がん剤投与後48時間までは尿や便に抗がん剤が排泄されます そのため、衣類やシーツなどを汚染した場合は看護師までお知らせください ②副作用について一緒に確認します ※また次のような症状がある時にはお知らせ下さい ・プレドニンの副作用による不眠、気分高揚、便秘 ・点滴刺入部の痛み、赤み、腫れがあるとき ・寒気、鼻水、鼻づまり、咳、喉の痛み、息切れや息苦しさ、発疹、身体がかゆいとき ③輸液ポンプ使用中は機械のアラームがなったらナースコールでお知らせ下さい ④治療回数を重ねるとしびれが蓄積性に起こってきます。日常生活に影響がないか確認し、しびれが強い時にはお知らせ下さい					①化学療法後の生活の注意点や感染予防行動について説明します ②プレドニン内服終了翌日や2日後にステロイドのリバウンド症状（倦怠感、脱力感、眠気、胃のむつきなど）を感じることがあります ※転倒に注意し、しゃがんだり、落ちたものは拾わないようにお願いします				・退院日は退院薬をお渡しします 次回入院日、または次回外来受診日をお伝えします ※会計からの連絡後、1階で精算して頂き、退院となります		

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります